

令和4年12月



みらながプロジェクト・ワークショップ結果について

企画課都市ブランド推進室

○目的

市民が愛着と誇りを持ち、市内外から「選ばれる都市」となる都市イメージ（都市ブランド）づくりに向けて、多角的な視点からキーワード・アイデアを集めるためにワークショップを開催した。ワークショップで出された意見は、2040年の長野市の未来に向けた都市ブランドコンセプトを策定するに当たり活用する。

○開催時期

令和4年10月11日（火）から令和4年11月18日（金）にかけて、計4回開催

○対象者（テーマ）

- 第1回 市内若手プレーヤー（経営者、会社員、クリエイターなど） 15名
- 第2回 市外在住の市出身者（起業家、クリエイター、会社員、学生など） 15名
- 第3回 市内学生（中学生、高校生、大学生など） 14名
- 第4回 市内で働く女性会社員など 16名

○ワークショップの内容

1 トークフォークダンス（第1回～4回にて使用）

参加者同士の交流を促すアイスブレイクのために実施
参加者同士が円座に座り合い、向き合い、簡潔に意見を述べ合う。

<議論テーマ（抜粋）>

- ・長野市の好きな場所/よく訪れる場所はどこですか？
- ・長野市の好きな一品は何ですか？（食物・飲物・お土産など）



2 マンダラチャート（第1回にて使用）

テーマに対して考えを広げるために実施

以下のような用紙を使い、アイデアを書き込んでいく。



3 ワールドカフェ（第1回～4回にて使用）

参加者同士で対話し、特定のテーマについて深堀するために実施

参加者4-5名で1グループとなり、20分程度、対話を行った。

< 議論テーマ（抜粋） >

- ・長野市に暮らしてみて、「よかった」/「惜しい」と感じる瞬間は？
- ・長野市らしさとは？
- ・どんな長野市だったら移住したい、もっと自慢したい、もっと応援したい？



4 アンケート

「長野市らしさ」や「長野市の魅力」について、参加者が自身の意見を整理するため、ワークショップ終了時に実施した。以下のような設問を通して、長野市の魅力や都市ブランディングについての回答を集めた。

< アンケート項目（抜粋） >

- ・長野市を表すキーワードは？/そのキーワードをあげた理由は？
- ・未来の子どもが考える「長野らしさ」とは？
- ・長野市に住み続けても良いと思えるように、起こしたい変化は？
- ・他の市町村とは一味違った地域をつくるために、今後どのように「長野市らしさ」を活かすことが重要か？ など

5 開催の様子



第1回
市内若手プレーヤー
(県立長野図書館)



第2回
市外在住の市出身者
(オンライン)



第3回
市内学生
(市立長野高等学校)

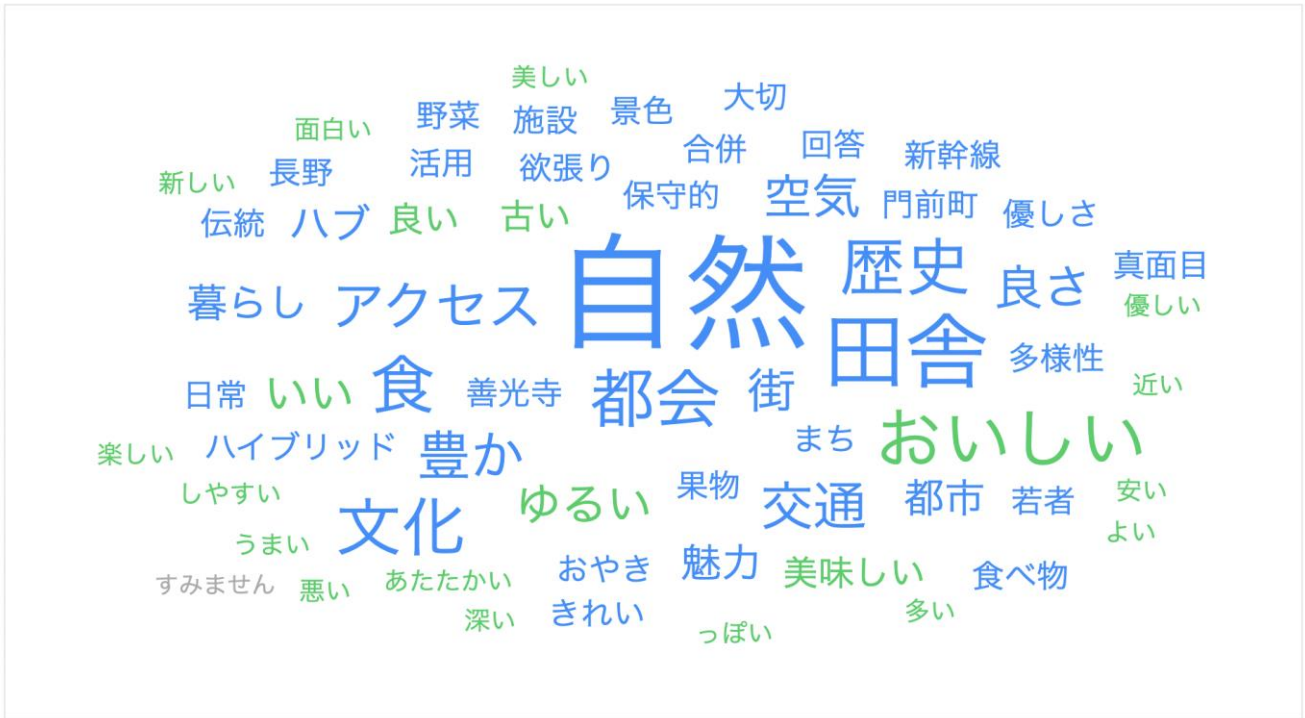


第4回
市内で働く女性会社員など
(シソーラス株式会社 長野DXセンター)

6 アンケートで得られた「キーワード」 (第1回～第4回、それぞれ詳細は別紙参照)

カテゴリー	キーワード
市民性	地元愛、多様性のある価値観、やさしい、おすそ分け、真面目、染まりやすい、人見知り、横断歩道で車が止まるなど人が優しい
歴史、文化	善光寺、門前街並み、リノベーション文化、オリンピック、古き良きもの、多様な文化(市内ローカル文化が多い)、信仰(ジブリ感)
環境	自然・田舎と都市のハイブリッド、暮らしに困らない、おいしい空気、自然が近い、四季を感じる、地域資源が豊か、すきまがある、県立大学があり若者が挑戦しやすい
交通	新幹線、東京など各方面へのハブ拠点
食	りんご、もも、ぶどうなど果物が美味しい、おやき、野菜が新鮮、お酒、季節感のある食文化、伝統的、潜在的な魅力がある
観光	果物、自然、景色を活かしたPRをもっと、潜在的な魅力がある、身近な非日常が売り

キーワードの分析結果（全体）



(名詞・形容詞の分析)

■ 名詞	スコア	出現頻度	■ 形容詞	スコア	出現頻度
自然	11.29	18	おいしい	0.56	6
田舎	3.45	10	いい	0.01	4
都会	3.85	7	ゆるい	0.69	3
文化	3.55	7	古い	0.20	2
歴史	2.99	7	美味しい	0.02	2
食	1.94	7	よい	0.01	2
交通	5.08	5	良い	0.01	2
アクセス	3.83	5	あたたかい	0.29	1
豊か	3.01	5	しやすい	0.07	1
街	0.63	4	美しい	0.03	1
空気	0.62	4	深い	0.02	1
良さ	0.48	4	安い	0.01	1
ハブ	3.12	3	近い	0.01	1
都市	1.93	3	うまい	0.01	1
暮らし	0.75	3	優しい	0.01	1

テキストマイニング※による分析

※名詞や形容詞など単語の出現頻度や相関関係を分析し、有益な情報を抽出すること

○アンケートで得られた「意見」（第1回～第4回、それぞれ詳細は別紙参照）

●未来の子どもが考える「長野市らしさ」

- ・おいしい果物や野菜が手頃に食べられる「まち」
- ・古き良き文化を大切にする
- ・自然が豊かで、身近で楽しめる田舎都市
- ・子どもがのびのび育つ
- ・人の温かみを感じられる など

●長野市に住み続けてもよいと思えるように、起こしたい変化

- ・「ふらっと行く」感覚で「仕事」と「自然の楽しみ」が実現できる場所を増やす
- ・おもしろい人と出会える場、機会を増やす
- ・若者の意見を取り入れる、まちづくりに活かす環境にする
- ・交通ハブとしての機能の充実、及び生活圏としての公共交通網の発展
- ・商業施設、若者向けのお店、遊べる場所を増やす
- ・自然の魅力をもっと活用したものを増やす など

●その未来に必要なヒト、モノ、コト

- ・この地に根差す人がつくる飲食店、コミュニティ（キーマン・キープレイスの存在）
- ・人のネットワークがつけられる場、機会の提供
- ・中心市街地に自然の豊かさを象徴する商業施設、自然を活かしたアクティビティ施設
- ・新しいチャレンジをする意欲を持った次世代、若者
- ・東京を行き来できるという逆転発想の仕組み（新幹線補助、移住用住宅の充実等）
- ・小中学生の子ども留学、全国から見て魅力的な高校、大学
- ・若者向けイベントの多彩な開催、おしゃれカフェの整備、学割の充実
- ・魅力的な食材、原料の新たな発掘 など

●「長野市らしさ」

- ・穏やかで優しい人が多い
- ・見えない住み心地よさ（安定感、安心感があり、いろいろあって羨ましい場所）
- ・果物、そば、野菜など食が魅力的
- ・自然が豊かで美しい（山、空気）
- ・善光寺、神社、信仰、温泉など、癒し空間
- ・気軽に田舎を実感できる
- ・依存せず、自分らしく生きられる
- ・古いものを大切に、歴史と伝統が息づいたまち など